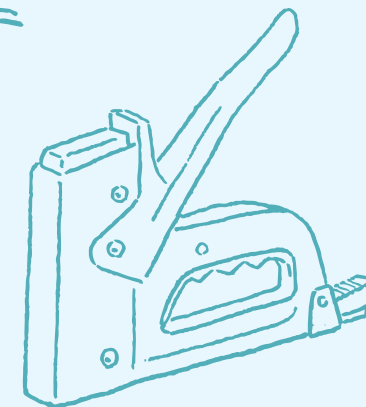
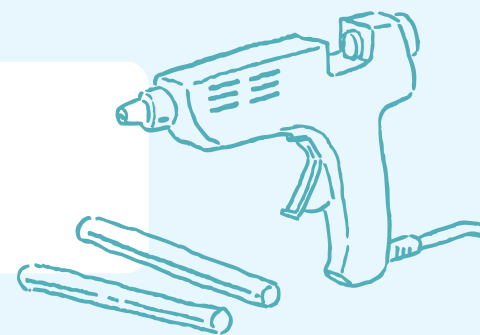
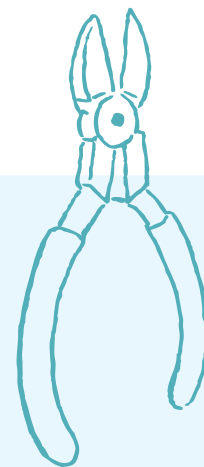
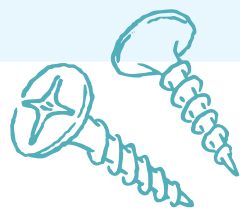


Contents

ものづくり
ものがたり
Made in Miyazaki



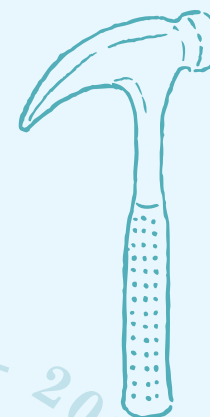
ものづくり

Made in Miyazaki

ものがたり

2012 - 2018

Made in Miyazaki



情熱をもち、ものづくり、に挑戦した
人々のストーリーをここに。
「Made in Miyazaki」を
全国へ、そして世界へ。

■ 事例編

令和元年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

case **01** **技術サービス業**
株式会社 八光開発コンサルタント 都城市
最先端の技術を導入・活用することが新たな領域への突破口に

case **02** **製茶業**
株式会社 井ヶ田製茶北郷茶園 日南市
生産能力増強で新規顧客獲得へ

case **03** **港湾運送業**
細島港荷役振興 株式会社 日向市
競争力強化で細島港を九州の玄関口へ

case **04** **食料品製造業**
株式会社 ゲシュマック 川南町
「一切無駄を出さない」という想いから生まれた加工品と総菜の数々

case **05** **廃棄物処理業**
有限会社 末原産業 宮崎市
不足状態にある木質系敷料を製造し畜産農家の期待に応える

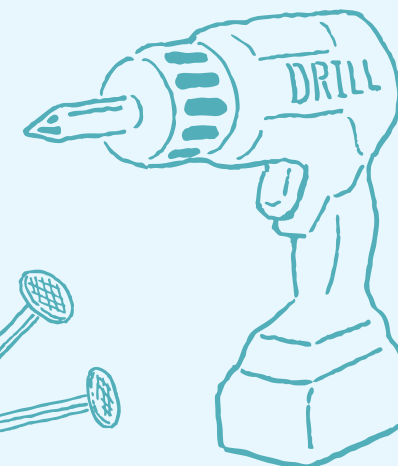
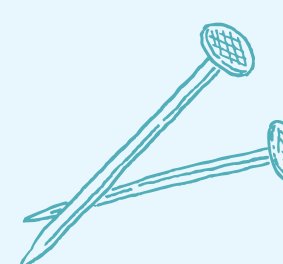
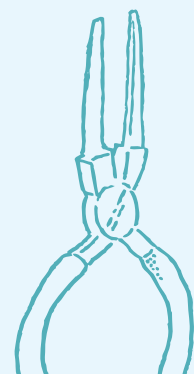
case **06** **食品製造業**
株式会社 サンライフ 小林市
ジビエで地域を元気に

case **07** **食料品製造業**
有限会社 向栄食品工業 国富町
処理に困っていた野菜くずが商品の付加価値となる堆肥に変身

case **08** **産業廃棄物処理業**
原田建設 株式会社 宮崎市
木くずリサイクルで環境に貢献

case **09** **畳製造業**
有限会社 岩田畳店 延岡市
伝統の技と全自動の新鋭機で顧客の新たなニーズに応え続ける

case **10** **金属製品製造業**
新光工業 株式会社 えびの市
新たな設備とさらに高めた技術力で自動車業界、医療業界の発展に寄与



「令和元年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」は以下の補助事業者に対する支援事業名です。

- ・平成27年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金
- ・平成28年度補正革新的なものづくり・商業・サービス開発支援補助金
- ・平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金
- ・平成30年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

【株式会社 八光開発コンサルタント】

2013 - 2018
Made in
MIYAZAKI

最先端の技術を導入・活用することが 新たな領域への突破口に

従来の測量業務の作業効率や安全性などを改善するために導入した3Dレーザースキャナー。
もたらしたのは課題解決以上のものでした。



代表取締役

星原 英樹
ほしはら ひでき

ものづくり
補助金活用
ココが
ポイント!



従来の測量には最低
3人のスタッフが必要
でした。



作業効率が8倍に

現場での作業効率が激変

一箇所の現場を測量するのに120分かかっていたのが
3Dレーザースキャナーによって15分で済むようになり
作業効率が大幅に高まりました。



ボタン一つで水平方向に360°、鉛直方向に300°を
自動計測。しかも一人で作業ができます。



新たに導入したドローン。山中など空からしかわからない
場所の測量が可能になりました。



ものづくりへの想い

当社が行っている測量や点検調査などは日が
当たることではないのかもしれませんが、もの
づくりのためには絶対に欠かせないものです。
これからも縁の下の力持ちとして社会の安全を
しっかりと支えていきます。

今後の展望

この機械を導入して3Dに触れたことが、その
後の3Dプリンターやドローンによるレーザ
ー測量の導入につながりました。この先も新たな
技術や機械を積極的に取り入れて他社との差別
化を図っていききたいですね。

新しいことでも「やればできる!」

平 成10年をピークに
公共投資の減少が
続き、大きな転換期を迎
えている測量設計業界。
宮崎県においては一般
競争入札が導入されて以
来、低コストによる受注
を余儀なくされています。
さらに若年層の建設業離れ
が進み、若手技術者の確保
も難しくなっています。
同社においても状況は
同様で、数々の課題を抱え
ていました。その課題を
解決するために導入したの
が最新の測量機器である
3Dレーザースキャナーです。
この機械によって
コスト低減、工
程短縮、作業効率・図面
精度・安全性の向上など
あらゆる面が改善されま
した。
加えて、従来の測量機
器は技術の習得までに3

5年かかっていたので
すが、この機械であれば
誰でも簡単に扱うことが
できるので女性や若者が
オペレーターとして活躍
できるんです。若い世代
の増強も課題にしていた
のでこの点も非常に大き
かったですね」
3Dスキャナーによる
成果はそれだけでは終わ
りません。遺跡調査やト
ンネルや橋梁などの点検
調査、さらには砂防堰堤
や急傾斜地を測量して防
災に生かす取り組みなど、
新たな分野への参入にも
つながっていったのです。
「最先端の技術をさまざま
まな形で活用できたこと
で、新しいことでもやれ
ばできるんだという空気
が社内に醸成されました。
今後もチャレンジ精神を
もってさらに社会に貢献
していきたいと思っています」



case 01 技術サービス業
株式会社 八光開発コンサルタント

設立: 1978年
代表取締役: 星原 英樹
資本金: 1,000万円 従業員: 50名
事業内容: 建設コンサルタント、
補償コンサルタント、測量、地質調査

〒885-0004
宮崎県都城市都北町5511番地2
TEL.0986-38-4047
FAX.0986-38-4504
<https://www.hakko-kaiatsu.com/>





これまでは充填が不可能だった形状の袋も対応可能となり、新商品の提案にもつながりました。



同時に導入したオートチェッカー。設定内容量と実内容量の差を瞬時に計量します。



生産量 倍増!

大量注文も難なくさばく生産能力

これまで機械2台で約4,000個だった1日の生産可能数量が、新たな充填機1台だけで4,000個が生産可能に。これまでの2台は小ロット商品の生産に活躍しています。



ものづくりへの想い

お茶の風味を保つためのパッケージ作業は、正確で美しい仕上がりを徹底しております。お客様に気持ちよくお手にとっていただけるような商品をお届けすることが、私たちのものづくりのこだわりです。

今後の展望

生産効率が向上し計画的な生産を行えるようになったことで残業時間の削減や休日増など働き方の改善にもつながりました。今後もさらに働きやすい職場を目指して人材の確保にもつなげていきたいですね。

株式会社 井ヶ田製茶北郷茶園

Made in MIYAZAKI

生産能力増強で新規顧客獲得へ。

既存の充填機の能力が足りずに受注機会を逃していた同社。高性能の機械を導入したことで生産力が倍増し、積極的な営業展開が可能となりました。



代表取締役
田村 かおる
たむら



困難だった販路拡大への救世主

直 営茶園や県内で生産された荒茶を仕上げ加工したのちにパッケージして商品化している同社。主な販売先は関東一円の量販店で、九州のお茶に対するニーズが高まるのに伴って販売量を伸ばしてきました。さらなる売上増を目指して販促を強化したいところでしたが、既存設備の生産能力の低さがネックとなっていました。「自動包装機2台で作業していたのですが1日に製造できるのがせいぜい4千個。一度に1万個近くの大量注文をいただくこともありますが、そんな時はその対応に数日間集中しなければならず、他の商品が欠品してしまいう恐れがありました。そのため店舗数が多いチェーン店など大量注文

が予想される大手取引先へのアプローチができませんでした」
思 うような営業展開ができない上に、注文数量を減らしてもらおうようお願いするなど貴重な売上の機会を失っていた同社は、そんな状況を打破すべく高性能の自動充填機を導入しました。「新たな自動充填機はこれまでの機械の2倍の生産能力があるんです。おかげでイレギュラーな短納期の大量注文にも対応できるようになりました。既存の2台を小ロット商品の製造に当てられるので、危惧していた欠品のリスクもほぼ解消できました。今後は、大型量販店や関西地区の量販店などにも積極的に新規営業を仕掛けていきます」

02 製茶業 株式会社 井ヶ田製茶北郷茶園

設立: 1967年
代表取締役: 田村 かおる
資本金: 1,000万円 従業員: 18名
事業内容: 茶生産・荒茶加工・小売販売

〒889-2402
宮崎県日南市北郷町郷之原乙2341-1
TEL.0987-55-2240
FAX.0987-55-4188

<https://igeta-tea.net/>





コンテナ取扱量が約3倍に

増え続ける国際コンテナに対応

管理システムによって作業効率が劇的に改善されたことで、これまで35,000TEUだったコンテナ取扱件数が100,000TEUにも対応可能に。他港との競争率強化につながりました。



以前は貨物搬出のトラックが長時間待機しなければならない状況もありましたがそれも解消されました。

紙ベースや電話のやり取りでは防ぎきれなかった人的ミスもなくなりました。



2013 - 2018
Made in MIYAZAKI

【細島港荷役振興 株式会社】

競争力強化で細島港を九州の玄関口へ

紙の作業書ベースで行われていた細島港の管理運用にシステムを導入することで作業効率が大幅に改善。港の可能性が大いに高まりました。



代表取締役

三輪 純司

みわ じゅんじ

革命をもたらした一元管理システム

東

九州沿岸地域のほぼ中央にある日向市に位置し、古くから海上交通の要衝として重要な役割を果たしてきた細島港。同社は昭和39年の設立以来、コンテナヤードの管理運営を請け負ってきたのですが、近年、作業効率改善の必要に駆られていました。

「これまで荷役担当のドライバーへの指示など貨物の管理を紙ベースで行ってきました。さらに、貨物が今どこにあつてどのような作業が行われているのかなどを電話や目で確認しなければならず、行き違いが発生するリスクを抱えていました。そんな中、海外からの貨物の取扱量が増え続け、これまでのやり方ではとても対応できない状況になっていったんです」

そ

こで同社が導入したのがコンテナヤード管理システムです。

「港に陸揚げされた貨物の状況をコンピュータの画面で一元管理できるとともに、各セクションと情報をリアルタイムで共有できるように、一切の作業の無駄がなくなりました。その結果として取り扱える貨物の量が増えたことで細島港の競争力を強化することができ、これからは楽しみにになりました」

作業効率が格段に改善されたことで人材不足解消や働き方改革、さらにはペーパーレス化や待機トラックの排気ガス減によるCO2削減など、革命といってもいいほどのインパクトをもたらした管理システム。IT化がさらに加速していく今後、さらなる活躍が期待されています。

ものづくりへの想い

ここから世界にもものが出ていき、世界からここにもものが入ってくる。そんなダイナミックな場所で貿易に携わっているのが何よりのやりがいです。今後も宮崎はもちろん日本のためにも貢献していきたいですね。

今後の展望

現在、細島港は南九州の玄関口として機能していますが、九州中央道が全線開通すれば九州の玄関口になれる可能性を秘めています。やがてくるその日のためにも港の振興にさらに尽力していきます。

case 03 港湾運送業 細島港荷役振興 株式会社

設立：1964年
代表取締役：三輪 純司
資本金：1,200万円 従業員：9名
事業内容：曳船事業、
ガントリークレーンのメンテナンス、
緑地管理及び清掃環境整備事業

〒883-0062
宮崎県日向市大字日知屋17731番地2
TEL.0982-52-4527
FAX.0982-52-4530
<http://hososhima-port.com/>





新商品の開発に大いに貢献している真空タンブラー等加工機械の数々。



加工場の新設によって従業員への負担が軽減されるとともに地元の雇用創出にもつながりました。



売上2倍を目指して!

生産力増強でニーズを逃さずキャッチ

加工場新設に伴って最新の機械を導入することで高まり続ける需要に対応。ふるさと納税の返礼品としてもこれまで以上の受注も見込まれることから売上倍増を期待しています。



ものづくりへの想い

商品を食べたお客さまに幸せを感じていただくことがやりがいです。味はもちろん、総菜のカットの仕方一つにしても中途半端なことは絶対にしない。そうしなければ川上の人たちにも豚にも失礼にあたりますからね。

今後の展望

当社では直営のネットショップを運営しているのですが、冷凍品の需要が大きく伸びています。加工に必要な機械は大方揃ったので、つぎは冷凍庫の容量を増やしてその需要に応えていきたいです。



代表取締役

山道 洋平
やまみち ようへい

2013 - 2018
Made in
MIYAZAKI

【株式会社 ゲシュマック】

「一切無駄を出さない」という 思いから生まれた加工品と総菜の数々

自社ブランドの『あじ豚』を使った加工品や総菜で高い評価を得る同社。増え続ける需要、そして豚を無駄にしないよう加工機械を次々と導入しました。



妥協を許さない商品でお客さまにも豚にも応える

自

社グループの農場で育てられたブランド豚「あじ豚」を使ったハム・ソーセージなどの加工品、総菜などを製造販売する同社。山道代表が本場ドイツで修行を積んだハム・ソーセージをはじめとする加工品やトンカツやメンチカツなどお総菜の売り上げは右肩上がり、週末には昼過ぎに品切れ続出という状態が続いていました。既存の店舗兼加工場では製造能力の限界に達していたのです。

そこで同社は敷地内に新たな加工場を建設するとともに数々の最新型設備を導入し、高い品質はそのままに生産力の増強を図りました。

「一般的な肉屋であれば必要な部位だけを仕入れるのですが、グループが農場を営んでいることもあって

豚一頭を丸ごと仕入れて

います。スタッフには常々話をしているのですが、私たちは豚の命をいただいて命をつないでいるわけです。ですから一切の無駄無くあらゆる部位を売切る使命があるんです。現在200種近い加工品や総菜を扱っているのですが、これだけ品数が増えてきたのはその使命を果たしているという思いがあるからこそなんです」

加

工場に並んでいる機械は代表がドイツにいたときに実際に使ってきた本格仕様のものばかり。人材に左右されることなく作業ができるよう自動化も進めています。

「お客さまのためにも豚のためにも、今後も一切妥協のない商品をつくり続けていきます」

case 04 食料品製造業 株式会社 ゲシュマック

設立: 1989年
代表取締役: 山道 洋平
資本金: 2,000万円 従業員: 35名
事業内容: あじ豚の精肉販売、
加工品・総菜の加工販売など

〒889-1301 宮崎県児湯郡川南町
大字川南23028番
TEL.0983-27-0878
FAX.0983-27-2946

<https://www.geschmack-shop.com/>



[有限会社 末原産業]

2013 - 2018
Made in
MIYAZAKI

不足状態にある木質系敷料を製造し 畜産農家の期待に応える

近年、バイオマス燃料事業を手掛けてきた同社。

同じ木材を原料とする木質系敷料の製造設備を整えて、新たな分野への一步を踏み出しました。



代表取締役

末原 雄二
すえはら ゆうじ



環境のためにも畜産農家のためにも

産

業廃棄物の収集運搬と中間処理場の運営を主事業とする同社。近年は、木くずを処理してバイオマス発電用チップを製造するバイオマス燃料事業にも力を入れてきました。

化石燃料の使用削減が叫ばれる中、再生可能エネルギーの一つとして注目されるバイオマス発電は増加傾向にあり、端材などの木材は優先して発電に活用されるようになりました。その分、同じく端材などの木材が原料で、家畜の寝床などに用いられる木質系敷料が不足するという事態が発生していたのです。

この状況に目を付けた同社は、家畜用敷料の製造販売に乗り出すことを決断。木材を処理しておが粉を製造する『おが粉

製造機』と、製造したバイオマス発電用チップからおが粉をふるい分ける『木チップふるい分け設備』を導入しました。

バ

バイオマス燃料事業を展開してきたので、原料となる木材は安定して調達することができずからね。木材を無駄なく使い切るためにも、畜産農家さんのためにもチャレンジしてみようと思ったんです」

この2年はコロナ禍による敷料の需要減とウッドショックによる木材価格の高騰のダブルパンチもあり、思うような生産ができていないといいます。状況が落ち着いて需要が戻ってくれば攻勢に転じる計画です。



原料のロスがゼロに

発電用チップから敷料となるおが粉をふるい分け

バイオマス発電用チップをふるいにかけることで、これまでは木くずとして処理されていたおが粉を回収し、家畜用敷料として活用できるようになりました。



木チップふるい分け設備にかけられた後のバイオマス発電用チップ。



バイオマス発電用チップと木質系敷料の原料となる木材。



ものづくりへの想い

ものづくりに限らずですが、人が目に付けられないようなものに注目して、それをどうにかして活用していくことが楽しいんです。その過程でいろいろな発見がありますしね。今後も積極的にチャレンジをしていきます。

今後の展望

石炭をはじめとする化石燃料に代わるエネルギーとして木質燃料の使用が拡大傾向にあります。当社としてもバイオマスチップ事業にさらに力を入れてその需要に応じていく計画です。

case 05 廃棄物処理業 有限会社 末原産業

設立：1998年
代表取締役：末原 雄二
資本金：400万円 従業員：25名
事業内容：一般廃棄物・産業廃棄物の
収集運搬、処分

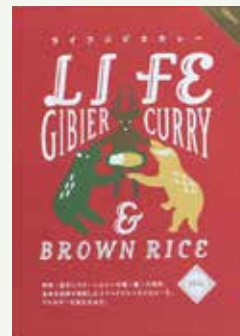
〒889-1702 宮崎県宮崎市
田野町乙9471-4
TEL.0985-86-3679
FAX.0985-86-4252

<https://www.sueharasangyou.com/>





自然なものだけを食べて育ったジビエを使った霧島ジビエカレー。ほかにもシチューやハンバーグ、ドッグフードも手掛けています。



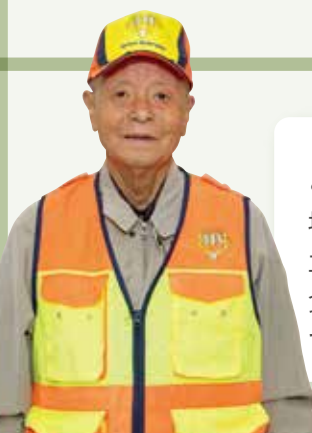
直営のネットショップで精肉や商品を販売しています。



新商品が続々登場

多彩なジビエ商品で販路拡大へ

製造機器が揃い、気軽に試作やレトルト加工ができるようになったことでシチューやハンバーグなど多彩な商品が誕生。大手通販業者などからの引き合いも増えています。



ものづくりへの想い

この事業によって猟師の所得増加→猟師数の増加→農家の鳥獣被害減少という地域に役立つサイクルを生み出せます。また、ジビエを食べてもらうことで消費者の健康へも貢献できるというやりがいもあります。

今後の展望

現在は、「霧島ジビエ」の商標登録を行って缶詰や燻製など新たな商品開発に力を注いでいます。昨今は高齢者のネットショッピング利用率も増加傾向にあるのでネット通販も充実させていきたいですね。

【株式会社 サンライフ】

2013 - 2018
Made in
MIYAZAKI

ジビエで地域を元気に

自らも猟友会に所属して害獣駆除を行う大久保代表。
捕獲した動物を有効活用するためにジビエを使った加工食品の製造を本格稼働させました。



代表取締役

大久保 敏章

おおくぼ としあき



製造工程の内製化で事業に光明

「農 家のみなさんが丹精込めて育てている農作物が有害鳥獣によって食い荒らされるのを防ぎたいという思いがすべての始まりです」

農業が主産業である本県にとって農作物の鳥獣被害は深刻な問題で、猟友会が中心となり各地で駆除が行われています。代表が猟友会に所属して活動している同社は、捕獲した鹿や猪をジビエとして有効活用するために、解体処理場を建設しました。

「処理場には一日に3頭ほどが猟師によって持ち込まれるのですが、精肉だけではさばき切れません。そこで加工食品を製造することにしました」

ジビエ加工品の第一弾として開発したジビエカレーは「フード・アクション・ニッポン・アワード」で入賞す

るほどの自信作でしたが、製造を外注していたため品質・コスト・納期、いずれも課題となっていました。

「そ のすべてを解決するために製造工程すべての内製化を決断した同社は新たに加工場を建設しレトルト装置を始めとする機器を導入しました。」

「自社で加工できるようになったことで味や食感など納得のいく商品を製造できるようになりました。配合をいろいろ試せる上、小ロットの製造もできるようになったので商品開発もやりやすいです」

内製化によってコストや納期などの課題を解決するとともに、顧客のニーズに応えられる体制を確立した同社。ここから営業攻勢がかけられると意気込んでいます。

case 06 食品製造業 株式会社 サンライフ

設立：2015年
代表取締役：大久保 敏章
資本金：300万円 従業員：6名
事業内容：健康補助食品の製造・販売

〒886-0213 宮崎県小林市野尻町
三ヶ野山4249番地
TEL.0984-44-3999
FAX.0984-44-1999

<https://sunlife.xyz/>





野菜くずと微生物を同時投入すれば3日ほどで高速分解されます。

発酵物は敷地内の堆肥小屋で完熟発酵され安心安全な堆肥となります。



経費が **1/2** に!

生産効率アップ&経費カットのW効果!

野菜くずを畑に搬入し何度も耕す作業が、加工所内の装置に投入するだけになったことで、かかる経費が年間576,000円から230,400円と約半分に。生産効率も上がりました。

ものづくりへの想い

野菜を育てて収穫する楽しみ。その野菜を他社にお届けする楽しみ。自ら加工して販売する楽しみ。そして、その漬物をおいしいと言ってもらえる楽しみ。こんなやりがいのある仕事はありません。

今後の展望

自家製堆肥で野菜を育てて漬物をつくり、その際の野菜くずで堆肥をつくる。この循環農法を商品の付加価値につなげて売り上げを伸ばしていきたいです。

【 有限会社 向栄食品工業 】

処理に困っていた野菜くずが商品の付加価値となる堆肥に変身

主に大根の漬物を製造販売する同社。加工する際に発生する野菜くずを高速分解する装置を導入することで、かかる手間もコストも削減することができました。



取締役専務

岩切 孝幸

いわりき たかゆき

課題解決で飛躍の弾みに

漬

物店として昭和50年に創業した同社。

その後、平成17年に農業法人の認可を受け、現在は総面積20haの畑で大根の生産も手掛けています。

「つくった大根を青果として出荷するにせよ、自社で加工用に使うにせよ、その処理過程で葉やヘタなど大量の野菜くずが発生するんです。

その野菜くずは軽トラックに積み込んで自社の畑まで運んで土に混ぜ込んで処理するのですが、そこに掛かる労力は大変なものでした。しかも大根は水分が多いので分解されて次期の作付けができるようになるまでに2〜3ヶ月もかかっていました。産業廃棄物として処理するにも費用がかかりますからね」(岩切専務)

そ

うやって頭を悩ませ続けてきた野菜くずの処理は、微生物分解装置を導入することで一気に解決に向かいました。

「それまでの労力が嘘みたいになくなりました。やることといえば装置に野菜くずと微生物を投入するだけ。それだけで発酵が進み、3日後には1/5程度の量に減っているんです」

残った発酵物はさらに発酵させて安心・安全な堆肥として自社農園で利用されるようになりました。そうすることで次の作付けまでの期間が1カ月に短縮されました。

「今後は、できた堆肥を自社の大根生産に使用するだけでなく販売につなげてさらなる売上増加を図られればと考えています」

case 07 食料品製造業 有限会社 向栄食品工業

設立:1975年
代表取締役:岩切 千春
資本金:300万円 従業員:17名
事業内容:漬物・冷や汁の製造販売、農作物販売

〒880-1106
宮崎県東諸県郡国富町大字森永1690
TEL.0985-75-5121
FAX.0985-75-5122
http://koueis yokuhin.m-m.info/



〔 原田建設 株式会社 〕

木くずリサイクルで 環境に貢献



長年、解体工事で発生する木くずのリサイクルに力を入れてきた同社。
再資源化率をさらに高めるために粗破砕機を導入しチップ生産力を増強しました。



手作業での選別作業は負担が大きかった上、木くずに付いている釘などで怪我をする危険もありました。



搬入されてきた木くずをそのまま投入できるのが木くず粗破砕機の何よりの強みです。



ものづくり補助金活用
ココがポイント!

処理効率81%向上

労力は削減、処理能力は急上昇

二人の作業員で行っていた木くずの選別を一人で行えるようになった上、1時間あたり451kgだった処理量が817.4kgとなりました。



代表取締役
上原 雄蔵
うえはら ゆうぞう



チップ事業の進展を加速させる新装置

産 業廃棄物のリサイクル工場を複数保有し、環境に配慮した解体工事を主軸とする同社。16年ほど前から家屋解体などで発生する木くずを処理してチップを生産してきたのですが、人力による手選別が必要な工程があり作業効率的にも安全性においても改善の必要性を感じていました。「破砕機に投入する前段階で木くずに付いているボルトやナット、金具類を取り除かなければならないのですが、その際、長時間にわたる中腰での作業を強いられるため、作業員の足腰にかかる負担が大きかったんです。人手ですら生産性も頭打ちの状態でした」

増加傾向にあり、受け入れを断らなければならない場合もあったといいます。この課題を解決すべく、同社が導入したのが、破砕機の前段階で木くずを処理する粗破砕機です。「木くず粗破砕機は異物が付いたままの木くずを処理できる上、粗破砕後に出る金属くずを自動で除去できるんです。おかげで人手による選別作業が不要になりましたし、処理効率が格段に高まりました。近年では災害によって発生する木くずも増えており、木くずの処理需要は増加傾向にあります。日本は資源に乏しい国ですから、大切な木資源をしっかりとリサイクルできるよう、より多くの木くずを受け入れていきたいと考えています」

ものづくりへの想い

当社の主要事業は解体工事なのですが、「解体プラス」と銘打って廃材を活かす解体を行っています。木材やコンクリートなど、廃材のリサイクル率は86%。未来の地球のために大切な環境を守るやりがいのある仕事です。

今後の展望

チップにはバイオマス発電などの燃料として使われる燃料チップと畜産農家の敷料となるエコチップがあり、どちらも需要が高まっています。その需要に応えるためにも地球環境のためにもこの事業を伸ばしていきます。



case 08 産業廃棄物処理業 原田建設 株式会社

設立：1964年
代表取締役：上原 雄蔵
資本金：2,000万円 従業員：36名
事業内容：解体・土木工事、
産業廃棄物処理など

〒880-0035
宮崎県宮崎市下北方町井尻5362番地5
TEL.0985-24-7463
FAX.0985-24-7464
<https://hrdm.co.jp/>





職人の技量によって品質の差異が発生していましたが、ミリ単位の寸法入力で製造できるので品質が均一になりました。



新たな機械によって生まれた余力は新たな技術の習得やスキルアップにも活かされています。



製造時間 **15%** 以上短縮!

生まれた時間を他部門の作業へ充当

全自動反転式平刺機によって畳1枚にかかる時間が縁付の場合は4分、縁無しの場合は7分短縮。新たに生まれた1日あたり1時間24分を他作業に振り分けることで、工場全体の生産力がアップしました。



ものづくりへの想い

お客さまとじかにやり取りすることが多く、喜びの声を直接聞けるのがこの仕事のいいところです。新しくなった畳をお客さまのお宅に納めたときに「気持ちがいいね」と言ってもらえると本当にうれしいですよ。

今後の展望

住宅様式の洋風化に伴って畳部屋は減少し、畳の需要も全体では減少傾向ですが、今後も自社の強みを生かし、変化に柔軟に対応しながらお客さまの要望に応え続けられる企業に成長発展していきたいですね。

【 有限会社 岩田畳店 】

伝統の技と全自動の新鋭機で 顧客の新たなニーズに応え続ける

短時間で高品質の畳を製造できる全自動反転式平刺機を導入し、ニーズが高まる縁無し畳の生産力を強化。課題だった生産体制にも光明が見えました。



代表取締役

岩田 浩之
いわた ひろゆき



生産力にも生産体制にも恩恵

昭

和25年に畳店として創業し、襖や壁紙などの張替えなども手掛ける同社。一日に40〜50枚の畳を製造、表替えできる生産力と、畳以外も扱える強みを生かして売上を伸ばしてきましたが、顧客の希望納期に応えられないケースが増えていました。

「これまで使用してきた機械では手作業が必要な工程もあることから、畳1枚を製造するのに縁付き畳で26分、近年受注が増えている縁無し畳の場合には40分もかかり、繁忙期には納期を延ばしてもらわなければ対応できなくなっていました」
手作業で行っている工程を自動化できればリードタイムを短縮でき、お客さんを待たせなくて済む。そう判断した同社は全自

動の機械を導入します。

新

たに導入された全自動反転式平刺機に

よって、製造時間は縁付き畳で15・3%、縁無し畳で17・5%短縮。その分、襖や壁紙など他部門の作業を行うことができるようになり、工場全体の生産効率が改善されたのです。
「この機械の恩恵は生産性の向上だけではなくありません。タッチパネルに数値を入力するだけなので経験の浅い作業員でも熟練の職人と変わらない品質の畳を作れるんです。技術者の育成も急務だったのでこの点も非常に助かりました。今後も70年培ってきた伝統を大切にしながら、新たな取り組みや設備投資にチャレンジしてニーズに対応していくつもりです。」

case 09 畳製造業 有限会社 岩田畳店

設立:1950年
代表取締役:岩田 浩之
資本金:500万円 従業員:2名
事業内容:畳の製造・表替、襖の製造・張替

〒082-0034
宮崎県延岡市昭和町3丁目1717-6
TEL.0982-35-1198
FAX.0982-35-6519

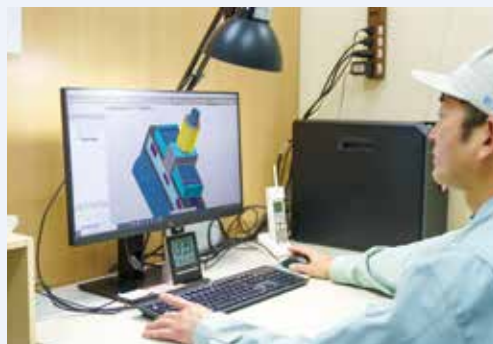
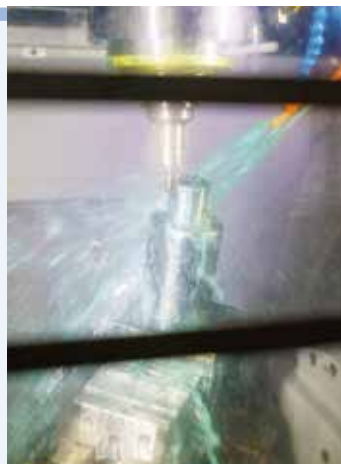
<https://itp.ne.jp/info/453859091500000899/>





製造工程を革新し、生産効率が上がったことで残業はほぼゼロに。仕事と生活との両立支援を推進する「イクボス宣言」企業として同社の取り組みにも大きな役割を果たしています。

1回のチャッキングで最大5面の加工が可能。傾斜面や複雑な加工においても高い精度を誇ります。



切削加工時間が 3日から**12時間**に!

外注頼りの工程を内製化してリードタイムを短縮

新たに導入した5軸制御立型マシニングセンタによって複雑な形状や難削材も加工が可能になった上に工程も短縮。短期間で精度の高い製品を製造できる体制が整いました。

ものづくりへの想い

当社が製造に関わっている医療機器は±0.01mmの精度が要求される上、ちょっとした傷一つも許されません。その分つくるのは大変ですが、完成したときの達成感はひとしお。患者さんの役に立てるといいうやりがいも大きいです。

今後の展望

国内においては自動車関連分野の変化が大きいと考えられ、それに対応しつつも医療機器の分野に力を入れて行く計画です。新たなマシニングセンタがあることで積極的な営業展開ができますからね。

新光工業 株式会社

新たな設備とさらに高めた技術力で 自動車業界、医療業界の発展に寄与

顧客から迫られる短納期化と高精度化。

最新のマシニングセンタを導入することで二つの課題を一挙に解決しました。



代表取締役

池内 数哉
いけうち かずや



製造工程を革新し新たなものづくりへ

創業以来、金属切削加工製品の受注生産を行う同社。

高度な精密部品加工技術で自動車部品製造装置の治具や、人工関節手術用機材などの医療機器部品を製造してきましたが、近年、顧客から求められる短納期化、高精度化への対応に頭を悩ませていました。

「当社では四軸五軸の切削加工を外注していたため、外注先の操業状況によって納期が左右され、リードタイムを短縮できずにいたんです。医療機器についても機器の高度化が進み、より高精度で複雑な加工を要する部品が求められるようになったのですが、当社の既存の設備では対応が難しく、外注に頼らざるを得ない状況でした」

そのような状態がこれ以上続けば受注に影響が出る恐れも出てきたことから、同社は最新のマシニングセンタの導入に踏み切りました。

「この機械を導入したことでこれまででは不可能だった加工にも対応できるようになり、外注していた工程を内製化することができました。おかげでリードタイムを大幅に縮められましたし、複雑な形状の製品も受注できるようになりました」

新たなマシニングセンタによって製造工程を革新したことで仕事の幅も広がった同社。自動車業界、医療業界の発展に寄与すべく、さらなる前進を続けます。



case 10 金属製品製造業 新光工業 株式会社

設立: 1959年
代表取締役: 池内 数哉
資本金: 2,100万円 従業員: 30名
事業内容: 自動車部品製造用機械部品、
一般産業機械用部品、
医療機器部品の製作・試作

〒528-0028
本社 滋賀県甲賀市水口町城東1-37
TEL.0748-62-4184
FAX.0748-62-2347

えびの工場
〒889-4241
宮崎県えびの市西郷1182
TEL.0984-35-1101
FAX.0984-35-1590



<https://www.shinkou-kogyou.jp/>